

MORIHOSHI もりほし 通信

2号
2023.1

盛岡という星で
BASE STATIONで
できること
起きること
会える人が
ふんわりわかる
フリーペーパー

もりほし通信 MORIHOSHI NEWS 2023.1 [2号]

CONTENTS

第二期!盛岡という星で(編集部) インターンシッププログラム

- 盛岡という星で BASE STATIONの人々
- 菜園ごはん
- 小さい旅 by LITERS
- U.M.S まちの雑学
- フォトエッセイ
- SANSA2303開発室
- もりほし〇〇部 活動日誌
- 盛岡という星でタンキュー部
- 妄想道場
- スキマ酒場
- 盛星いろいろ応援団
- もりほし掲示板
- 4コマまんが「大いなる決断」
- 盛星BSの人々のつぶやき
- 盛星BSインフォメーション



特集
外食派も、自炊派も。
盛岡っこのごはん事情



灯油ってどこで買うんですか？
外の天気でもたずねる調子で、訊かれた。
秋口に採用された岩大生のアルバイト。茨城の実家では灯油を使わないという。
寒いんです。そりゃ寒いよ、冬が来るもの。そんな話をしたのが11月。
今ではストーブの上が、鉄瓶やら土鍋やら実家から届いた干し芋やらで賑やかならしい。ようこそ、北国へ。あったかぬ。

#北国 #石油ストーブ #冬 #岩手県公営会

instagram
@planet_morioka
facebook
@planet.morioka
twitter
@planet_morioka

website
planetmorioka.jp
「盛岡という星で」プロジェクトの詳細は公式ウェブサイトにてご確認ください。



盛岡という星でBASE STATIONの人々
盛星インフォメーション2期生、その後も盛岡の盛り場をめぐり、通信もリレー企画など大いに関わります。

すでに「盛岡もの盛り検定」3級を持っている影山さんは、公認の「もりおかコンシェルジュ」。

3年ぶりに開催された「盛岡さんさ踊り」では、盛星チームの一員として大役を果たしました。

ちょうどいい、を買うお店
「秤-HAKARI-」
市もまもなく閉業、え、今日はあわびの酒蒸し即売会?! そんな11/19の、材木町。向かったのはオープンしたばかりの「秤-HAKARI-」です。
お店のあちこちで、はかる、はかる、はかる。自分の欲しい分だけ。使う分だけ。試す分だけ。そして、はなす、はなす。どうやって使う? なでできる? どう違う? 自分が欲しいものはコレを、このくらい! ってわかるためには、いろんなことを知りたい。話をしながら買う、ってやっぱりいいよね。

© 全編はこちらから https://litters.jp/minitrip_hakari/

vol.3
かげやま けいこ
影山桂子さん

Q. 盛星との出会いは?

A. 憧れのデザイナーさんや、出身校の後輩、居酒屋でよく見かける顔など。なぜか知ってる人がたくさんいる場所でした。そして気付いたらLIVE配信に出るようになっていた、という…(笑)

Q. インターンシップにも参加しましたね。

A. 盛星のインスタ作りでは、悩んで悩んで編集部に通いつめました。ようやく完成させた投稿にコメントが付いた時は、伝わった! よかった! って。申し込む時はすごく迷いましたが、ここから、なんでも参加してみよう、やってみようの人にならなると思っています。

Q. 「もりけん部」ではついに部長!

A. 「盛岡もの盛り検定」をみんなで受検したくて企画しました。盛星BSには地元の資料もあるし、詳しい人もいっぱい。集まったメンバーもそれぞれ得意分野があって助かっています。今は「必ずみんなを甲子園に!」みたいな気持ちでドキドキ(笑)

Q. 今後の活動について教えてください。

A. これからも編集部にまぎれこんでいきたいです(笑) 趣味の合唱のイベントを盛星BSで開催してみたいですね。公演だけじゃなく、合唱団に入りたい人向けに、いろんな団体が集まる機会を作るのもいいなと思っています。



「Valo」盛岡市菜園

U.M.S

Unknown Morioka Story
まちの雑学

りんご「ふじ」はじめの一本が盛岡にあるらしい?

日本のりんご生産の半分以上を占める人気者「ふじ」。この品種を生んだ最初の一本、つまり原木は盛岡市内にあるんです。世界中で作られているものすごい数のふじの木が、すべて直接または間接的にこの原木の枝を接ぎ木されているというからすごい! そもそもは青森県藤崎町にあった農林省園芸試験場で育ったもので、施設(※1)が統合された際に盛岡に移植されたんだとか。ちなみに袋をかけずに太陽に当たって育ったふじが「サンふじ」だというものはじめて知ったのです。

※1 現独立行政法人 農業・食品産業技術総合研究機構 果樹研究所リンゴ研究拠点



「ふじ」が誕生したのは青森県で、盛岡に移植されたのが1961年。栽培用のりんごの木は、種からではなく接ぎ木で増やすので、世界中のふじが盛岡にある原木の言わばクローン。(写真はふじのりんご畑)

盛岡っこの
押しグルメは?

河南エリア
中ノ橋通・肴町・八幡町・南大通
「肴町のミッシェルのアップルパイ!」
「ミッシェルのサンド系のパンと、サーターアングァー」
「ミッシェル定期的に覗いて新商品をチェック。イチオシは木いもごのパイ」
「平船精肉店のチキンはクリスマスの定番!」
「夏は必ず南大通の佐藤水店のかき水です」「佐藤水店のお焼き」
「こていのポチサラ。内緒にしたい!」
「紅茶の店しゅんのスコーン。マーレードをつけたり、バターをつけたり。もちろん紅茶ともバッチリ」
「南大通のすの家で釣りどんこ。このネタが好きすぎて!」

大通・菜園エリア
「三寿司の納豆巻き」「三寿司の裏巻」
「白子!!左近という居酒屋さんで食べた白子の味、忘れられません」
「チロルのチーズケーキ。あれは、雪。口溶けやばい。あんなに口溶けが美味しいチーズケーキはない。めっちゃ美味い!」
「昼休憩に食べるかしわやの蕎麦が沁みる」
「孫家の麻婆豆腐が旨辛」
「しょうが焼きやのしょうが焼きで元気 100倍」
「いいことがあってもなくても小鉄でホルモンを焼く」
「シトロンのアップルパイは最強!盛星 BS 上のかわとく香番館に定期的に販売されているのでつい買ってしまいます」
「TAWARAの定食」「柳家の岩手山(小)」
「オンディヌのナポリタン」

マルイチ
「中ノ橋通店。店内産直ではあの有名シェフにも遭遇!」
「中ノ橋通店。産直コーナーが充実してるから」
「梨木町のマルイチ。家から近くて通う場所。岩手高校が隣にあるので、夕方は部活帰りの高校生がたくさん」

ビッグハウス
「本窓一択です。品揃え、安さ、実家の近さ」
「量を買いたいときはビッグハウス一択」
「お肉とお魚が、安くて美味しい。住んでいた時は、分量がちょうどいいパックがあったこともポイントでした!」

ジョイス
「土曜日、玉子が安くて感謝」
「肉を買いたいときはジョイス」
「ジョイス本町店、ベルフ山岸。中津川散歩中よく寄りました」

トライアル
「品揃え〇!!トライアル(西バイス浴い)」
「お肉なども安し上、品揃え豊富で楽しいです。数少ない24時間営業で日用品も幅広く売っているので、何度助けられたことか。住める勢いです」

ユニバース
「松園店はお酒売場が充実〇」
「みたけ店は広くて何でも揃ってる!楽しい!週末の楽しみ」
「みたけ店は営業時間の長さも品揃えの多さから、ピンポイントに欲しいものが手に入るため重宝しています」

その他
「山岸のビターパンのクリームパイ。盛岡に行ったら絶対食べる」
「お母さんの作った唐揚げ」
「仕事終わりのじゃじゃ麺。お店のこだわりは、コンビニのじゃじゃ麺もよく食べます」
「やっぱり盛岡冷麺!」
「盛岡に帰ると必ず食べます。あの麺のコンとスープの味は、やっぱり本場でしか味わえません」

上田・高松・梨木町・長田町エリア
「ガロパン。高校生の時、テスト期間はいつも寄って帰って、腹ごしらえをしてからテスト勉強してました!ミルク味の細長いパン…甘くて美味しくて大好きです!」
「夜のマッピーカレーが優しい」
「中央病院の近くのデイリーの近くのお団子屋さん。こしあん、粒あんの団子があり、個人的にはこしあん派。団子もあんこも美味しい!すぐに売り切れます」
「定番ですが福田パン」

本町・内丸・櫻山エリア
「機屋のシュークリーム」
「ちきゅうやのカレーが癒し」
「戸塚珈琲店のプリンが大好き」
「大陸飯店、安くて美味しい!」
「小腹が空いた時の毎月堂のだんご」
「サブールのクリームパン」
「22時過ぎのりーべで飲む紅茶はほほほ」
「ア・ラ・モンタン」
「やっぱり、白龍じゃじゃ」
「鍋道業の塩レモン焼きそば。エビマヨ、焼きチーズも好き♡ビールジョッキがキンキンで嬉しい」

紺屋町・神明町エリア
「平日昼に食べる米内の生ラム定食が格別!」
「冷麺は肉の米内が1番好きです!」
「関口屋菓子舗の石衣」
「ダスコのキャロットケーキ。レモンタルトも、最高」

盛岡駅周辺エリア
「びんぼん舎の冷麺が実家から送られてきます。旨い。感謝」
「初代のラーメン」
「サランのキムチ」

外食派も、自炊派も。
盛岡っこの
ごはん事情

言いはじめたら止まらなくなる、街のおいしいアレとかコレとか。これが盛星フォロワーのリアルな声!

その他
「山岸のビターパンのクリームパイ。盛岡に行ったら絶対食べる」
「お母さんの作った唐揚げ」
「仕事終わりのじゃじゃ麺。お店のこだわりは、コンビニのじゃじゃ麺もよく食べます」
「やっぱり盛岡冷麺!」
「盛岡に帰ると必ず食べます。あの麺のコンとスープの味は、やっぱり本場でしか味わえません」
「山岸のビターパンのクリームパイ。盛岡に行ったら絶対食べる」
「お母さんの作った唐揚げ」
「仕事終わりのじゃじゃ麺。お店のこだわりは、コンビニのじゃじゃ麺もよく食べます」
「やっぱり盛岡冷麺!」
「盛岡に帰ると必ず食べます。あの麺のコンとスープの味は、やっぱり本場でしか味わえません」
「山岸のビターパンのクリームパイ。盛岡に行ったら絶対食べる」
「お母さんの作った唐揚げ」
「仕事終わりのじゃじゃ麺。お店のこだわりは、コンビニのじゃじゃ麺もよく食べます」
「やっぱり盛岡冷麺!」
「盛岡に帰ると必ず食べます。あの麺のコンとスープの味は、やっぱり本場でしか味わえません」

盛岡っこの
押しグルメは?

第二期!盛岡という星で(編集部) インターンシップ・プログラム

★目玉はテーマ別の「ゼミ活動」! 第一線で活躍するクリエイター陣から、企画や編集について直接まなべるプログラム。二期目となる今回は、豪華な講師が次々登壇する「講義編」と、チームに分かれてユニークな作品づくりにチャレンジする「ゼミ編」の二段構えとなりました。

講師陣
各ゼミのメンターを務めるのは豪華なクリエイターのみさん。

- 古川誠さん** (スターズ出版 株式会社 オスマガジン/メトロミニッツ 編集長)
- 桃生和成さん** (一般社団法人 Granny Rideto 代表理事)
- 川戸崇央さん** (株式会社 KADOKAWA タ・ヴァンチ 編集長)
- 今井雄紀さん** (株式会社 ツイ代表取締役 編集者)
- 清水真介さん** (合同会社 ホームシックデザイン 代表 盛岡という星でクリエイティブディレクター)

講義編 ★密度ぎっしり講義編
あの全国誌の編集長が目の前に!? そんな夢のような講義が全部で5プログラム。企画のコンや編集のツボ、情報発信の動ドコロがぎゅぎゅに詰まった贅沢すぎる2日間でした。

内容の濃さと講義5連発というボリューム、あまりの密度に消化するのが大変なほど。それでも真剣に聞き入るインターン生たち。

ゼミ編
★じっくり取組むゼミ編
講義でしっかり学んだ後は、あらかじめアウトプットの決められた各ゼミでチーム活動!課題そのものを変更しちゃったゼミ、いきなりバンドメンバーを集め始めたゼミなど、それぞれ楽しくまじめに頑張っています!

- 古川ゼミ MISSION**
巨大MAP開発と盛岡の商品リサーチ
途中で変更! ↓
オリジナル商品開発!
- 桃生ゼミ MISSION**
へんでこイベント!
他のゼミとは一風変わった個性を放つマイペースゼミ。勝負服でZINE、趣味を探す男、盛岡名物バンドと、アウトプットもひとクセあるものばかり…(笑)
- 川戸ゼミ MISSION**
文芸作品!
未経験者も含めて全員が「小説」に挑戦する川戸ゼミ。「ダ・ヴァンチ」編集長から直々にフィードバックをもらえるなんて、贅沢すぎなのでは…!
- 今井ゼミ MISSION**
取材型 ZINE!
敷居の高さに尻込みしていたBARに次々突撃してみたルボZINEから、盛岡を囲む「山」を見つめなおすアーシーなZINEまで、初期衝動をそのまま編集!
- 清水ゼミ MISSION**
盛星 SNS 新コンテンツ!
盛星クリエイティブディレクターのもと、王道のSNSコンテンツに取組むメンバーたち。課外活動やプレストを繰り返し、目に見えて企画力が養われました。

▲手紙付きやレシビ付きなど、メンバーそれぞれがデザインしたラベルは全5種類。
▲リサーチという名のもとに、盛岡散策を楽しんでもらいました(笑)